

「Criteo Direct Bidder」が AMP に対応 ヘッダー入札におけるアドテク技術に新たな節目を刻む

インターネット上のオープンな広告プラットフォームを提供する Criteo（クリテオ、本社:フランス、日本取締役社長:グレース・フロム、以下 Criteo）は、広告を掲載するパブリッシャー（メディア）向け主要サービスの1つであるヘッダー入札「Criteo Direct Bidder（クリテオ・ダイレクト・ビッター）」において、スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末上でのウェブページを高速で表示させる仕組みである AMP（Accelerated Mobile Pages）との互換性を業界に先駆けて強化したことを発表しました。

これまで公開されてきた AMP のページ数は、50 億を超えています。これに伴い、パブリッシャー側もモバイルページのトラフィックが AMP に移りつつあることへの認識を高めてきました。しかしながら、広告の収益化においては、そのスピードに追いつかないという課題がありました。この度、Criteo Direct Bidder が AMP に対応したことで、当社はヘッダー入札を通じて AMP の広告在庫にアクセスすることが可能になり、効率的にモバイル広告の収益パフォーマンス向上へと導くことで、お客様の要望に応えます。

AMP に対応した Criteo Direct Bidder は、パブリッシャー、広告主、消費者にとって、それぞれにメリットをもたらす仕組みとなります。パブリッシャーは、Criteo が有する 19,000 社の広告主が費やす広告費から収益増を図ることができます。広告主においては、AMP の広告在庫へのアクセスが改善されることにより、より多くのモバイルユーザーへのリーチが可能となり、ユーザーとのエンゲージメントを高めることで、キャンペーンのパフォーマンス向上につなげることが可能になります。モバイルユーザー、すなわち、消費者にとっても、より関連性が高い広告が表示され、利便性が向上します。

当社のグローバルサプライ部門エグゼクティブバイスプレジデントのマーク・グラボウスキは、次のように述べています。「Criteo はヘッダー入札において広く受け入れられてきた独自の技術で業界トップクラスの実績があります。AMP への互換性を強化したことは、これまでに約 4,000 に及ぶプレミアムパブリッシャーにより導入された我々の製品における新たなマイルストーンの達成と考えております。パートナーであるパブリッシャーが消費者目線のモバイルウェブのあり方に応える必要性に迫られていると同時に、消費者が関心を持っている新たな分野での収益化を重視しているという認識の下、当社では AMP へ対応する技術開発への投資を決めました。」

Criteo は、スムーズなユーザーエクスペリエンスを提供するという AMP の目的にも合致しているとし、AMP の RTC（リアルタイムコンフィギュレーション）のベンダーとして承認されております。このフレームワークを使うと、数分で AMP の広告タグをアップデートし、Criteo のデマンドにアクセスすることができ、パブリッシャーは収益の効率化を短期間で実現することが可能となります。



台湾の大手デジタルメディアである「China Times」は、AMP に対応した Criteo Direct Bidder を導入したことで、約 400%もの収益増を実現しました。

■ Criteo (クリテオ) について ■

Criteo (NASDAQ : CRTO) は、オープンで透明性のあるインターネット上の広告プラットフォームを提供しています。2,800 名以上の Criteo チームメンバーは、世界 19,000 社の広告主と、数千のパブリッシャーと連携して得られる膨大なデータを、機械学習を用いて精密に分析することで、全ての広告チャネルを通じた効率的な広告配信を実現します。Criteo はテクノロジーを通じて、あらゆる規模の広告主に対し、ユーザーが本当に求めているものに出会える仕組みを提供します。
www.criteo.com/jp/

※CRITEO 株式会社はその日本法人です。

本件に関するお問い合わせ先

【報道関係者】

Criteo 株式会社 PR 事務局 (フライシュマン・ヒラード・ジャパン株式会社内) 中山

Tel : 03-6204-4301 Fax : 03-6204-4302 E-mail : criteo-pr@fleishman.com